

(3) 総合交通

④ 公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進

～公共交通機関の利便性向上により快適な交通環境を確保します～

推計事業費（3ヵ年合計）：－

◆目標とすべきまちの姿

交通不便地域の解消やバスや駅のバリアフリー化が進められ、市民が快適に公共交通機関を利用するようになっていきます。

公共交通機関の利用が促進されることにより、生活道路の渋滞が緩和されています。

◆主な取組

1. 公共交通機関利用への転換の促進

交通渋滞の緩和及び地球温暖化防止等の環境保全の面から、公共交通機関利用への転換を促進する施策を、関係機関と協力しながら進めます。

2. 移動円滑化の推進に関する基本方針等の推進

ミニバスも走行できない地域の利便性の向上を図ります。

3. 駅等のバリアフリー化の推進

鎌倉市移動円滑化基本構想に基づき、公共交通事業者が実施する駅施設等の改善について支援します。

◆この施策の方針内で実施する事業（実施事業）

※ この3年間で、予算の伴う事業はありません。